

「私立高一般入試日に雪」

朝、北千住駅を降りると、粉雪が舞っていた。今朝の予報では、関東地方平野部は雪が降り、東京23区でも3cmの積雪があると予想されていた。そして、10時半、「大雪警報」に変わり、東京23区でも積雪が10cm前後になりそうだ。12時現在、学校付近では、家屋の屋根は白く、校庭もかなり白くなってきた。

ところで、東京でも雪の予報は難しい。東京で雪が降るのは、上空に強い寒気があり、太平洋を西から東に低気圧が通る時が多い。南岸低気圧と呼ばれるもので「八丈島より北を通れば雨、南を通れば雪」といわれているが、過去の事例から見ても南岸低気圧の位置だけでは「雪か雨か」を判断することはできないようだ。昨年1月6日に降った雪の時は、予報ではうっすらと白くなる程度としていたが、実際には東京都心で最深積雪が10cmになり、関東の平野部では広く大雪となった。

北日本や日本海側に住む人からすれば、たった10cmで大騒ぎすると言われてそうだが、雪に慣れていない東京では、少しの雪でも交通がマヒする。今朝、駅の構内の放送で「今後、降雪により、運行ダイヤの乱れが生じる」ことをアナウンスしていた。東京23区では大した雪でなくても、電車の運行には周辺部の状況が影響する。たとえば、半蔵門線は渋谷から押上を結ぶ地下鉄。地下部分を走るのだから影響はないと思えるのだが、実際には電車は神奈川県中央林間から埼玉県南栗橋や久喜を結ぶ。神奈川県や埼玉県で降雪があると、大きく影響し、ときには運休することもある。今日がそんな日にならないことを祈る。

今日2月10日は都内私立高校の一般入試日である。こんな日に限って雪かと思われるが、そういう年もある。2月は東京で雪が降ることが多い期間だから、仕方がないのだが。雪の予報なので、今日は日頃とは違う、滑りにくい靴や運動靴を履いている人も多いだろう。私もそんな靴を履いてきた。それでも、今日は「滑る」なんて言葉は禁句だから、外を歩くときは足元に十分気をつけよう。

2月10日 校長 鈴木 幸雄

◆問題 正方形の中に、4つの辺と接する円を描き、さらにその中に、4つの頂点が円周上にある正方形を書きます。二つの正方形の面積の比を求めなさい。

